

原子力の革新的技術開発のロードマップの策定について

平成20年2月12日
原子力委員会

1. 趣旨

エネルギー問題や地球温暖化問題の抜本的解決に向けて、中長期的には温室効果ガスの排出を究極的にゼロとするような革新的な技術開発の取組が求められているところ。

このため、温室効果ガス排出削減等、地球温暖化対策に資する原子力エネルギー利用の多様化、高度化を図る革新的技術開発、その他の原子力技術について、効果的かつ効率的に推進するため、研究開発課題を明確にするとともに、その優先付けや推進方策に関する検討を行う等、その実現に向けたロードマップの策定を行う。

2. 検討方法

原子力の革新的技術開発のロードマップの検討に当たっては、原子力委員会において臨時会を開催し、関係機関からのヒアリング及びその結果を踏まえた調査、審議を行い、3月中旬を目途に取りまとめる。

なお、関係機関からのヒアリングは、研究開発に係る機微情報を含む可能性があるため、非公開で行う。

また、当該ロードマップに係る原子力委員会の調査、審議に当たっては、必要に応じて有識者の参加を得ることとする。

3. 検討スケジュール（予定）

2月中旬～ 原子力委員会臨時会（2回程度）

- ・調査、審議方針の確認
- ・関係専門家、関係府省等からのヒアリング（非公開）

2月下旬 原子力委員会臨時会（2回程度）
～3月中旬 ・原子力の革新的技術開発の選定に係る調査審議

3月中旬 原子力委員会臨時会
・ロードマップ取りまとめ

(別 紙)

原子力の革新的技術開発のロードマップの調査、審議の会合
への参加を依頼する有識者について

- ・ 岡田 漱平 日本原子力研究開発機構 理事
- ・ 田中 知 東京大学大学院工学系研究科 教授
- ・ 松井 一秋 エネルギー総合工学研究所 理事
- ・ 山名 元 京都大学原子炉実験所 教授
- ・ 横山 速一 電力中央研究所理事・原子力技術研究所長

その他、必要に応じ、有識者を招聘し、調査審議への参加を依頼する。